

質の高い仕事を目指す！

『大学教育関連制度・法令・組織の理解』

開催趣旨

本研修は、SDゼミナール「大学の制度・法令・組織」との合同開催となります。

- 1) 大学教育を取り巻く制度・法令・組織のうち、大学運営の中核を担う職員が身につけておくべき知識・理解を身につけます。特に、令和4年度大学設置基準改正について、具体的な事例を交えながら理解を深めます。
- 2) 人口減少社会の中で大学が持続していくためには、社会人や留学生など多様な学生をこれまで以上に受け入れることも必要です。リスキルや危機管理といったトピックスを大学教育の視点で捉えなおします。
- 3) 仕事の質を高めるために役立つ技術（例 法令の読み方）を身につけます。

対象の目安

全教職員（勤続年数にかかわらず、どなたでもご参加いただけます。）

開催日時

2024年6月1日（土） 13:50～17:00

会場

キャンパスプラザ京都

募集定員

30名

※定員は、SDゼミナール受講生を含んだ人数となります。

※ 大学コンソーシアム京都加盟大学・短期大学優先および先着順

※ 定員を超過したときは、参加をお断りする場合がございます。

※ 申込人数が定員を大きく下回るときは、開講しない場合がございますのでご了承ください。

参加費用・振込期限

加盟大学・短期大学 1,000円

非加盟大学・短期大学 4,000円

※ 請求書をお送りいたします。指定の口座にお振込みください。

【振込期限】

2024年5月27日（月）

※ 期日までにお振込みいただけない場合は、事前にご連絡ください。

申込方法・申込期間

【申込方法】

WEB ページよりお申込みください。

<https://www.consortium.or.jp/project/sd/joint-p>

【申込期間】

2024年4月25日（木）～5月17日（金）

研修プログラム

- 1 大学運営の仕組みを理解する（講義・ワーク）
大学運営の仕組み（例 内部質保証）について「根拠法令」と「組織文化」の視点で考えます。
- 2 大学教育を取り巻く制度・法令を理解する（講義・ワーク）
大学教育の諸制度（例 単位制度）について「根拠法令」と「大学の裁量」の視点で考えます。特に、令和4年度大学設置基準改正について、具体的な事例を交えながら理解を深めます。
- 3 大学教育を取り巻く課題を理解する（講義・ワーク）
人口減少社会の中で大学が持続していくためには、社会人や留学生など多様な学生をこれまで以上に受け入れることも必要です。リスクや危機管理といったトピックスを大学教育の視点で捉えなおします。
- 4 大学職員の仕事と学び（講義・ワーク）
質の高い仕事を目指すために、これからどのように担当業務に向き合い、学び続けるかを考えます。

【事前課題】

課題1)

事前配布資料を読んで本講義の流れを把握しておいてください。なお、事前配布資料の中にあるワークについては、自分の回答を用意しておいてください。

課題2)

勤務校の大学教育の特徴（例 キャリア教育が充実している）を1つ取り上げ、①その概要、②その教育が勤務校で実施されるようになった経緯や背景をパワーポイント2枚以内に整理して、当日2分以内で説明できるように準備（プレゼンの練習）してきてください。②の経緯や背景を理解するために、勤務校のベテラン教職員に取材することを可能な範囲で試みてください。

講師

宮林 常崇 氏

東京都立大学法人 東京都立大学管理部理系管理課長（学務課長兼務）